

N8141-48 デバイス増設ユニット

ユーザーズガイド

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

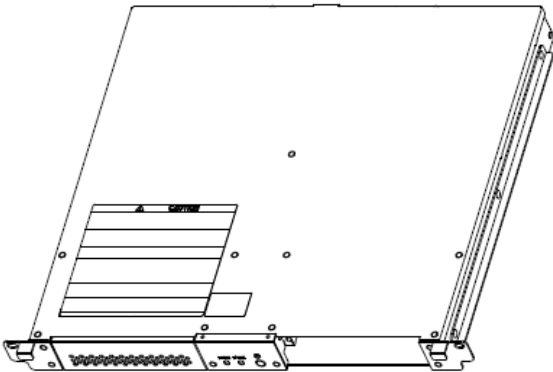
本製品（N8141-48 デバイス増設ユニット）のご使用につきましては、本ユーザーズガイドおよび、NEC Express サーバに添付のユーザーズガイドを参照の上ご使用願います。また、ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。本説明書をお読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

N8141-48 デバイス増設ユニット 構成品一覧表

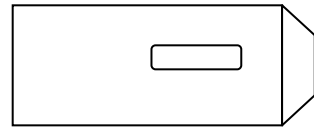
箱の中身を確認してください

この度は、N8141-48 デバイス増設ユニットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず添付品がそろっているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。
万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

☐ 本体



☐ 保証書（本体梱包箱に貼り付けられています）

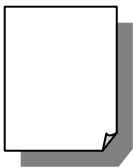
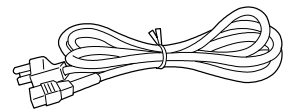
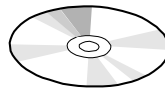


添付品の中身

☐ CD（ユーザズガイド）

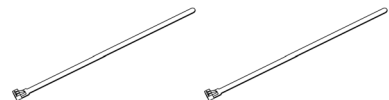
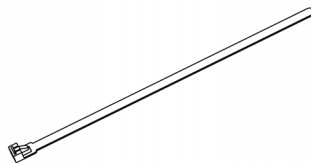
☐ 電源コード 1 本

☐ スタートアップガイド
はじめにお読みください



☐ ケーブルリピータイ黒（1 本）

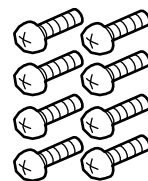
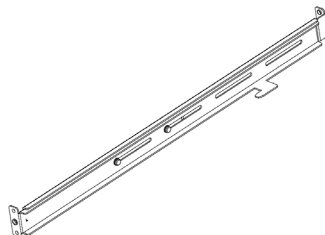
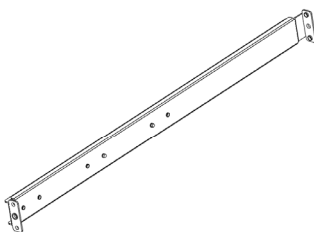
☐ ケーブルタイ白（2 本）



☐ ラックマウントレール R

☐ ラックマウントレール L

☐ ラック取り付け用ネジ 8 個
(M5 ミリネジ)



（ラックマウントレール内側に R/L の刻印があります →22 ページ）

商標について

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

注 意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対応を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 6100-3-2 適合です。

：JIS C 6100-3-2 適合とは日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお勧めします。

日本国外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- （1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- （2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- （3）NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- （4）本書は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- （5）運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。



使用上のご注意 ～必ずお読みください～

デバイス増設ユニットを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全に関わる表示について

デバイス増設ユニットを安全にお使い頂くために、この取り扱い説明書の指示に従って操作してください。

本書には、ご使用時にどこが危険であるか、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、使用時に危険が想定される箇所、あるいはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す用語として、「警告」と「注意」を使用しています。それぞれの用語は、次のような意味を持つものとして定義されています。



人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示しています。



火傷やケガなどを負う恐れや、物理的損害を負う恐れがあることを示しています。

危険に対する注意・表示には次の3種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	危険が発生する恐れがあることを表しています。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表しています。記号の中や近くの絵表示は、禁止された行為の内容を図案化したものです。
	行為の強制	この記号は行為の強制を表しています。記号の中の絵表示は必要な行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためには、この行為が必要です。

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などが挟まれてけがをするおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	高温による損害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	爆発や破裂による障害を負うおそれがあることを示します。		装置に対して接地をする必要があることを示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をして下さい。
---	--	---	---------------------------------------

安全上のご注意

デバイス増設ユニットを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全に関わる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
	規格以外のラックで使用しない 本装置は EIA 規格に適合した Express サーバ用のラックに取り付けて使用します。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因になることがあります。本装置で使用するラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
 	指定以外の場所で使用しない 本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをする恐れがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源ユニットの POWER スイッチをオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔、挿入口やそれ以外のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

⚠ 注意



日本国外で使しない

本装置は、日本国内専用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。



アース線をガス管につながらない

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

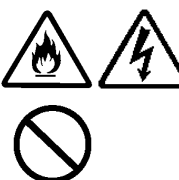
指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

クラス OI のアース線付の AC コードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



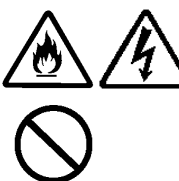
たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードを踏まない
- 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐに同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの 販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）



添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源ケーブルを持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意



一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44U ラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



一人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する

ラック用のドアやトレイなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを固定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



複数台の装置をラックから引き出した状態にしない

複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を越える配線をしない

やけどや火災、装置の破損を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を越えないようにしてください。なお、電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 給湯器のそばなどの湿気の多い場所
- 不安定な場所



ファンや通気孔をふさがない

本製品の背面にあるファンや前面の通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤作動の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

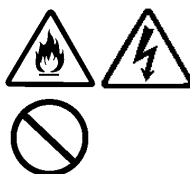


腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



指を挟まない

デバイス増設ユニットをスライドレールに取り付ける際に、レールなどで指を挟んだりしないよう十分注意してください。



プラグを抜かずにインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インターフェースケーブルの取り付け／取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ、電源ユニットがオフ状態でも電源コードを接続したままケーブルに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。また、ケーブルの取り付け、取り外しは接続先の電源を切ってから行ってください。

⚠ 注意



ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない

ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、怪我をするおそれがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NEC が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。インタフェースケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり汚れたりしていないことを確認してください。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- インタフェースケーブルの接続がゆるんだまま使用しないでください。インタフェースケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実にしておこなってください。インタフェースケーブルを取り外すときはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠ 警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造をおこなったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



プラグを抜かずに取り扱わない

お手入れやオプションの取り付け、取り外しは、本装置の電源ユニットをオフにして、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。たとえ電源ユニットをオフにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品やコネクタに触れると感電したりショートによる火災を起こしたりするおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったら、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



高温注意

本装置の電源ユニットをオフにした直後は、内蔵デバイスなどをはじめ装置内部の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け、取り外しをおこなってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、オプションは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部分に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項

⚠ 注意



ラックから引き出したり取り出したりしない

運用中に本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



装置の上にものを載せない

本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因になります。



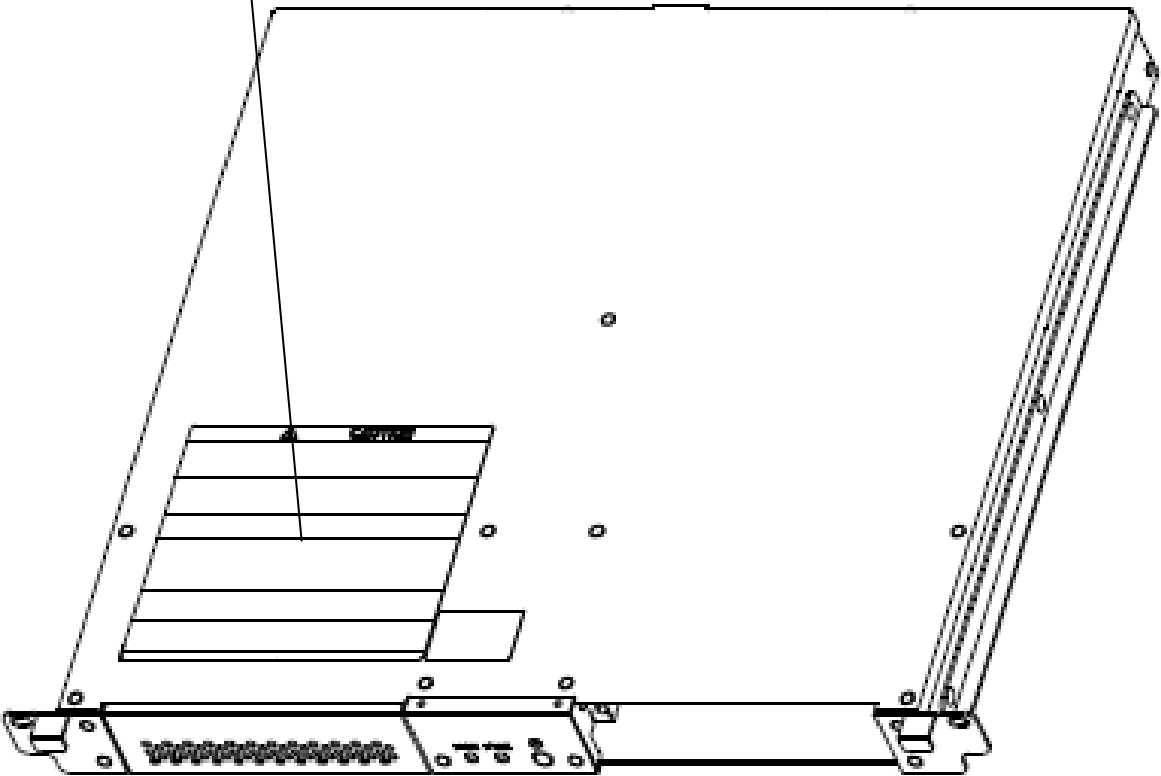
巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却 FAN の部分に手や髪の毛を近づけないでください。手を挟まれたり、髪の毛が巻きこまれたりしてけがをするおそれがあります。

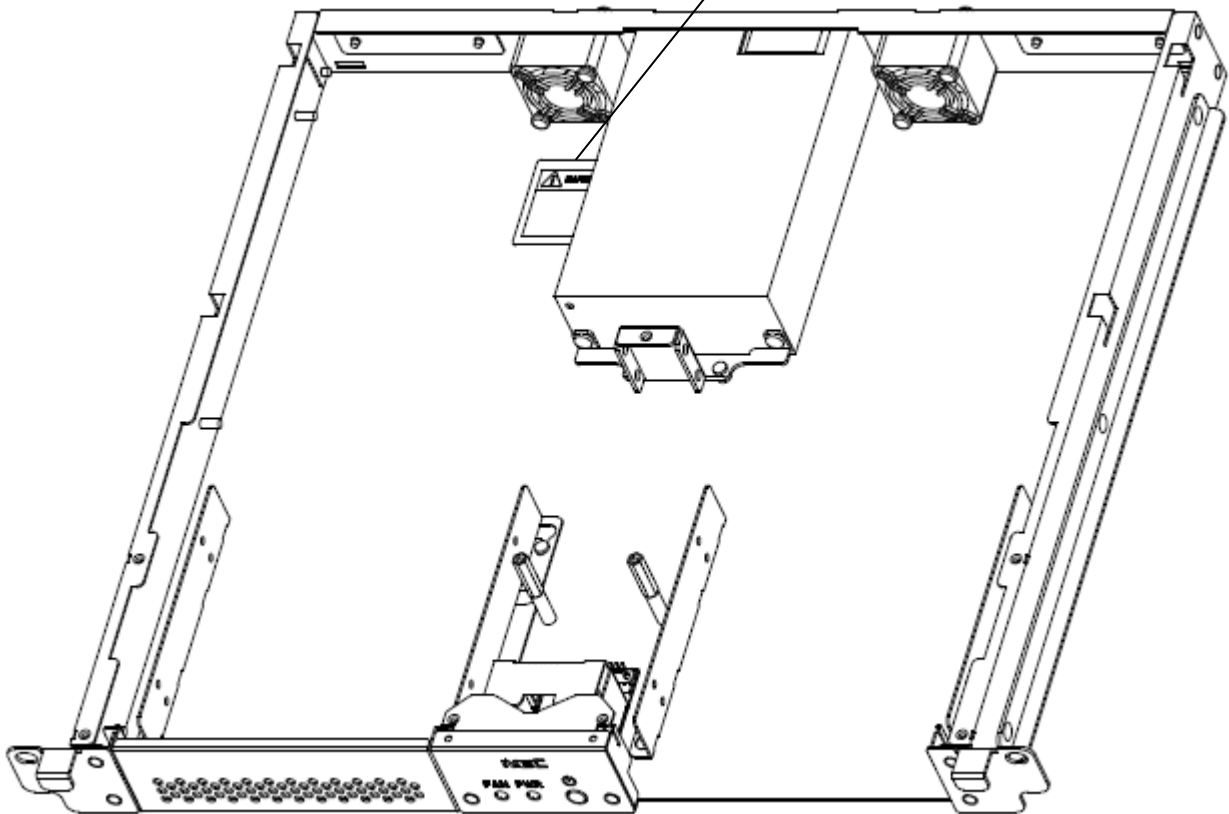
警告ラベルについて

デバイス増設ユニットには、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識して頂くためのものです。ラベルをはがしたり汚したりしないでください。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態でしたら、販売店にご連絡ください。

⚠ 注意 CAUTION
<p>オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options. 進行可选项的安装和拆卸时，请先把电源插头从插座中拔出，并取下与外部设备连接等的线缆。</p>
<p>高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。 As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down. 有的部件可能会达到高温。请注意待其冷却之后再接触。</p>
<p>ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。 Do not drop any screws inside the system. 请注意不要把螺丝掉落在主机内部。</p>
<p>ボード及びオプション装置の接続の際は、必ずユーザガイドを参照し、正しく接続して下さい。 Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents. 对板卡以及可选项设备进行连接时，请务必参照“用户指南”，正确进行连接。 如果错误连接，可能会导致故障或火灾的发生。</p>
<p>指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意して下さい。 To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system. 请小心不要夹住或碰伤手指。</p>
<p>装置の持ち上げ、移動の際は、表面の底面をしっかりと持ち上げて持ち下して下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system. 抬起或移动设备时，请注意托稳设备底部。</p>





<装置外部>



<装置内部>

本文中の記号について

本文中では、次の記号を使って運用上の注意やヒントを示しています（安全上の注意事項に関する記号については巻頭の説明をご覧ください）。

	製品の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

デバイス増設ユニットを正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置のケーブルの接続／取り外しはExpressサーバの電源がオフになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のオフは、実装された内蔵デバイスのアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度オフにした後、再びオンにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本装置を移動する前に電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け／接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のデバイスには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



保守サービスについて

Expressサーバの保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

Expressサーバをいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

付属品の確認

デバイス増設ユニットの梱包箱の中には、装置以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

付属品はセットアップをするときやオプションを増設するとき必要となりますので大切に保管してください。


第三者への譲渡について

デバイス増設ユニットまたは、添付品を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書を一緒にお渡しください。

消耗品・装置の廃棄について

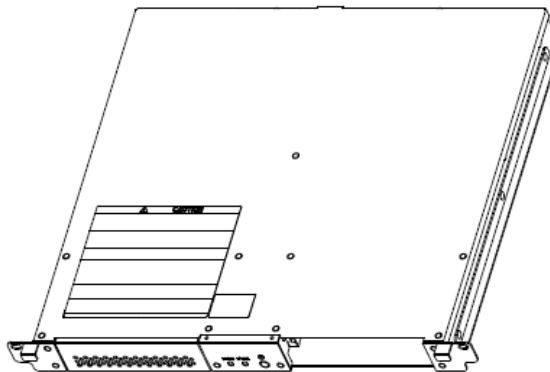
- デバイス増設ユニットおよび内蔵デバイス（LTO、DATなど）、電源などの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、デバイス増設ユニットと一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

目 次

 使用上のご注意 ～必ずお読みください……………	3
安全に関わる表示について……………	3
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容……………	4
安全上のご注意……………	5
警告ラベルについて……………	12
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために……………	14
 付属品の確認……………	 15
 第三者への譲渡について……………	 15
 消耗品・装置の廃棄について……………	 15
 1. デバイス増設ユニットの概要 ……………	 17
2. 各部の名称と機能 ……………	18
3. 設置と接続 ……………	21
4. 内蔵デバイスの取り付け ……………	28
5. 基本的な操作 ……………	41
6. コンフィグレーション ……………	43
7. ユーザサポート ……………	44

1. デバイス増設ユニットの概要

この章では、デバイス増設ユニットの概要について説明します。



デバイス増設ユニットは、Express サーバに接続するオプションで、バックアップデバイス（5.25 インチデバイス）を取り付けるスロットを2つ用意しています。Express サーバ用の 19 インチラックに取り付けて使用します。

デバイス増設ユニットの機能

■ デバイス増設ユニットには、5.25インチデバイス（ハーフハイト）を取り付けるスロットを2つ装備しています。

■ インタフェース

出荷時インタフェースケーブルは実装されておりません。内蔵するデバイス用のインタフェースケーブルが別途必要になります。

- ・ SASケーブル : K410-163(00) ※SAS 3Gbpsに対応
- ・ SASケーブル : K410-249(00) ※SAS 3Gbps/6Gbpsに対応
- ・ USBケーブル : K410-197(00)
- ・ SCSIケーブル : K410-201(00)

(2012年3月現在)



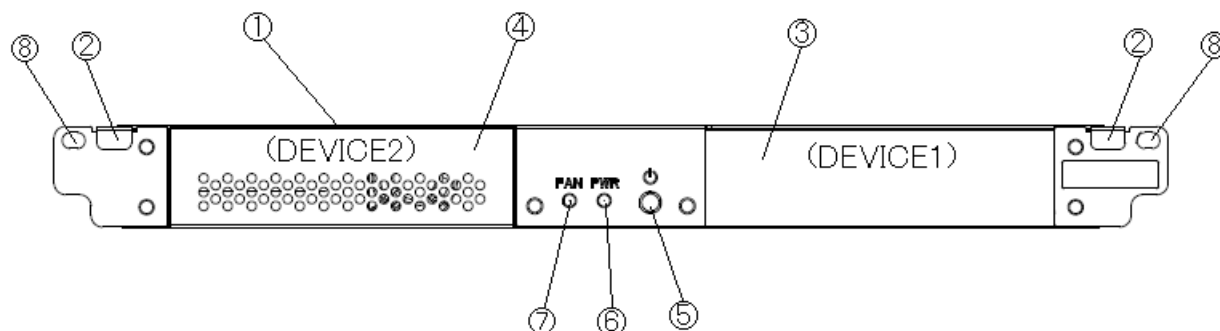
ヒント

各ケーブルとも1デバイスにつき、1本必要です。

2. 各部の名称と機能

デバイス増設ユニットの各部の名称を次に示します。

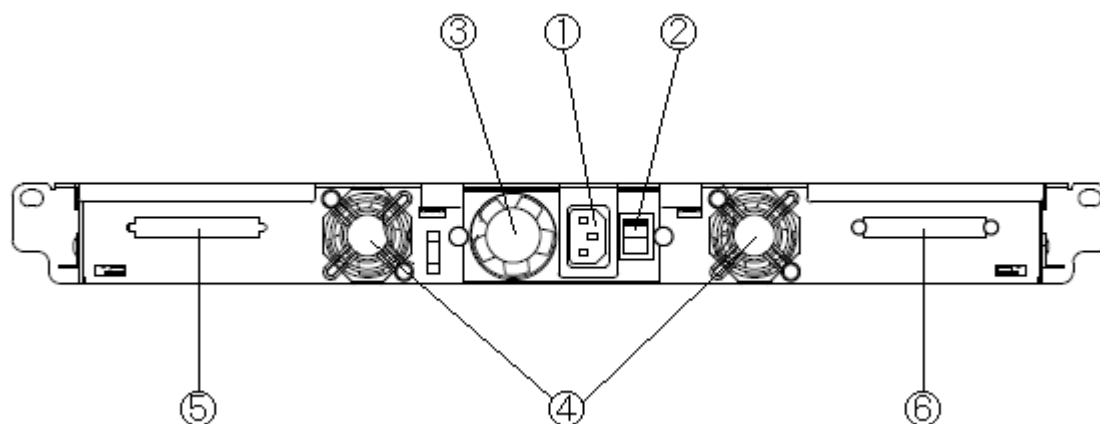
装置前面



- ① トップカバー
デバイス増設ユニット上面を保護するカバー。
5.25インチデバイスを実装するときに取り外す。(→30ページ)
- ② ハンドル
デバイス増設ユニットをラックから引き出すときに使用します。
- ③ 5.25インチデバイスベイ (DEVICE1)
- ④ 5.25インチデバイスベイ (DEVICE2)
オプションの5.25インチデバイスを取り付けるスロット (→37ページ)
- ⑤ DCパワースイッチ
電源を投入するためのスイッチ
- ⑥ PWR LED (緑色)
デバイス増設ユニットの電源ユニットがオンすると緑色に点灯します。
- ⑦ FAN LED(アンバー色)
ファンの異常を検出したときにアンバー色に点灯します。
- ⑧ ラック固定ネジ穴
ラックを固定するためのネジ穴。

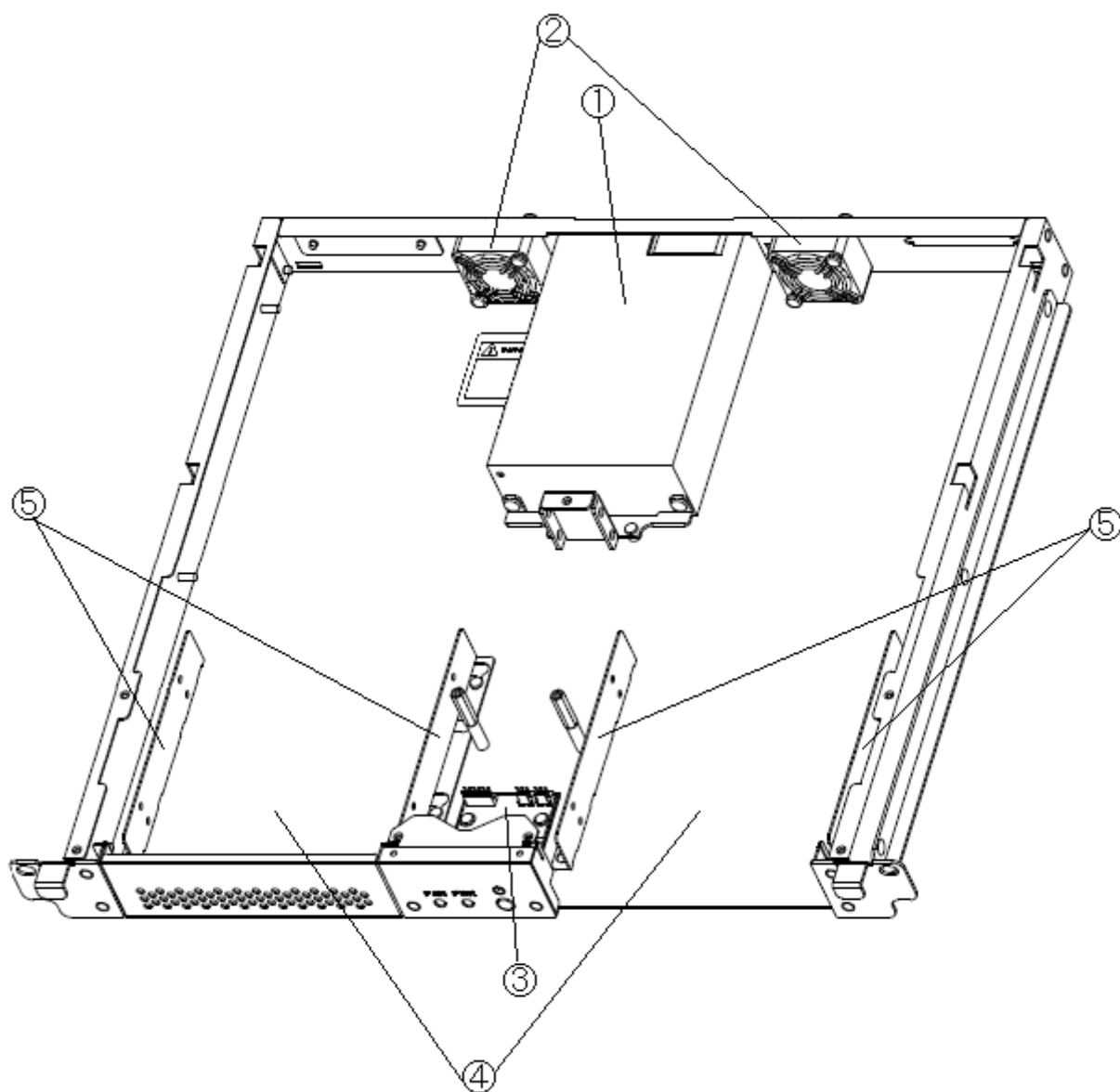
装置背面

< 出荷時の電源使用時 >



- ① ACインレット
電源コードを接続するソケット。
- ② 電源ユニットパワースイッチ
デバイス増設ユニットの電源をオン／オフするスイッチ。（→41 ページ）
- ③ 電源ユニットファン
電源ユニットを冷却するためのファン。
- ④ 装置ファン
装置内部を冷却するためのファン。
- ⑤ コネクタ取り付け用スロット 1（DEVICE1用）
- ⑥ コネクタ取り付け用スロット 2（DEVICE2用）
インタフェースケーブルを実装した際にコネクタを取り付けるためのスロットです。
出荷時はカバーが取り付けられています。

装置内部



- ① 電源ユニット
- ② 装置ファン
- ③ LEDボード
- ④ 5.25インチデバイス取り付け位置 (→37ページ)
- ⑤ デバイス取り付け用ブラケット

3. 設置と接続









デバイス増設ユニットの設置と接続について説明します。

設置

デバイス増設ユニットはEIA規格に適合したラックに取り付けて使用します。

ラックの設置

ラックの設置については、ラックに添付の説明書を参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。ラックの設置作業は保守サービス会社に依頼することもできます。


 警告	
 	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。 詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 指定以外の場所で使用しない● アース線をガス管につながない
 注意	
   	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。 詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一人で搬送・設置をしない● 荷重が集中してしまうような設置はしない● 一人で部品の取り付けをしない● ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出した状態にしない● 定格電源を超える配線をしない

次に示す条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所にラックを設置したり、ラックに本装置を搭載したりすると、誤動作の原因となります。

- 装置をラックから完全に引き出せないような狭い場所。
- ラックや搭載する装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床に凹凸や傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- 本装置の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどでオン/オフする場合の接点スパークなど）を発生する装置の近く（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください）。

ラックへの取り付け/ラックからの取り外し

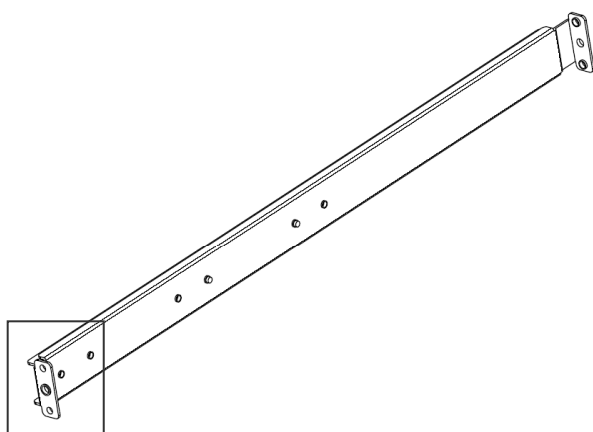
デバイス増設ユニットをラックに取り付けます（取り外し手順についても説明しています）。別売の内蔵型デバイスオプションを購入している場合は、ラックに取り付ける前に取り付けてください。（→38ページ）

⚠ 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一人で持ち上げない● 指定以外の場所に設置・保管しない● カバーを取り外したまま取り付けない● 指を挟まない

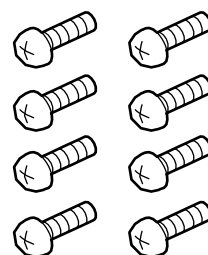
取り付け部品の確認

ラックへ取り付けるために次の部品があることを確認してください。

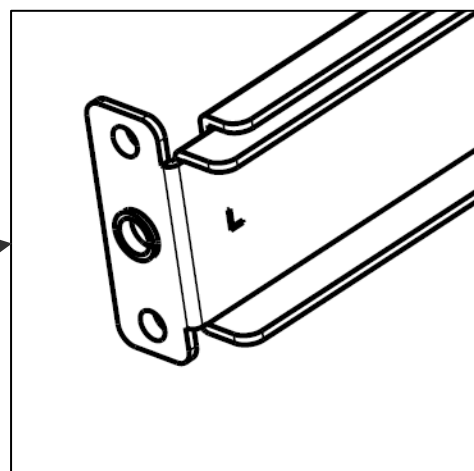
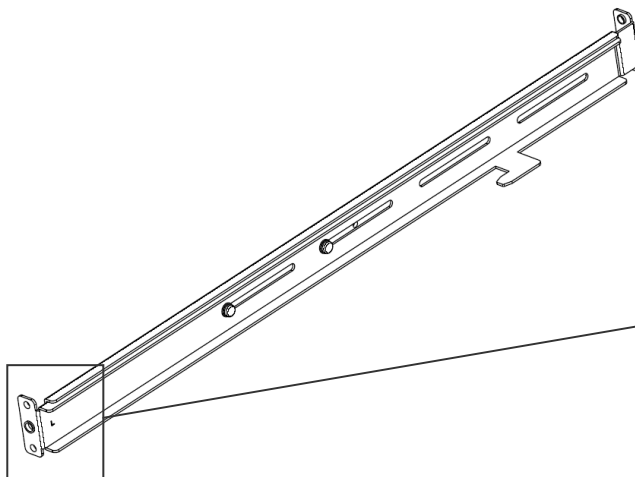
□ラックマウントレールR



□ネジ
8 個
(M5 ミリネジ)



□ラックマウントレールL



ラックレールの内面に刻印表示されています
(左：L、右：R)

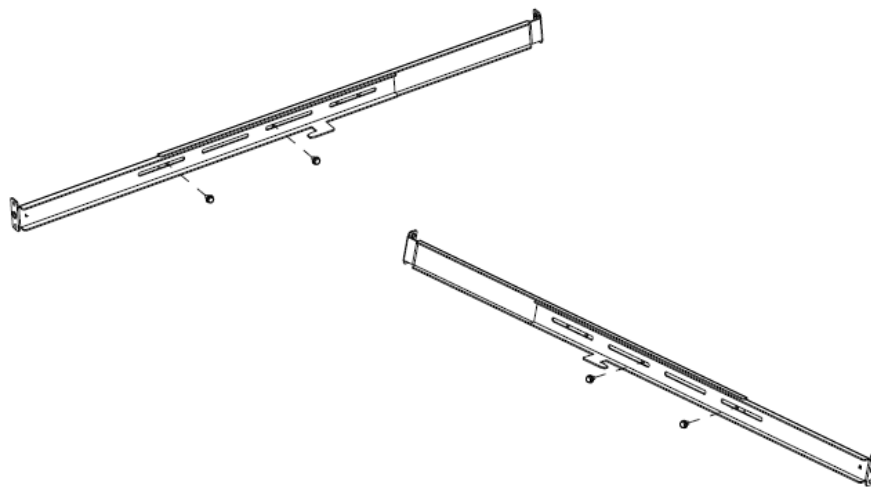
必要な工具

ラックへ取り付けるために必要な工具はプラスドライバのみです。

取り付け手順 ～NEC製ラック／他社製ラック

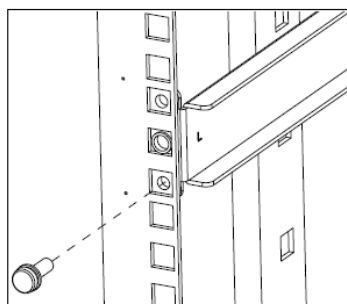
本装置はNEC製、および他社製のラックへ取り付けることができます。次の手順で装置をラックへ取り付けます。

1. ラックマウントレールのネジを緩めラックの長さに調節します。

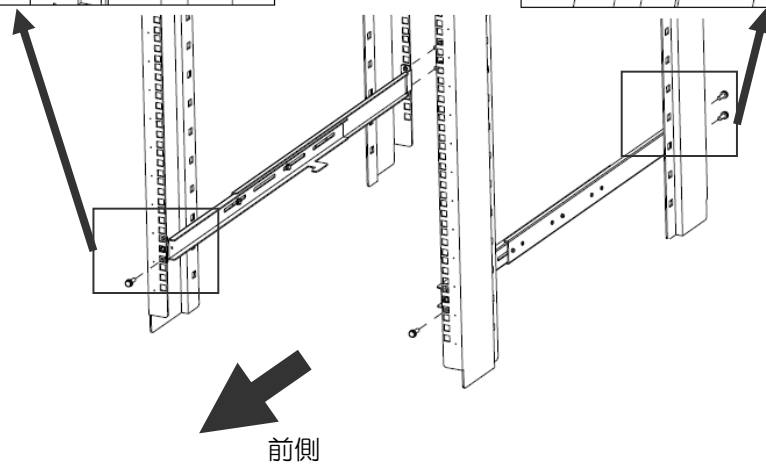
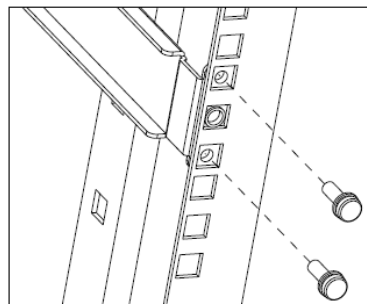


2. ラックにレールを前側に左右1個ずつ、後側に左右2個ずつ、計6箇所に取り付けます。

＜前側＞





＜後側＞

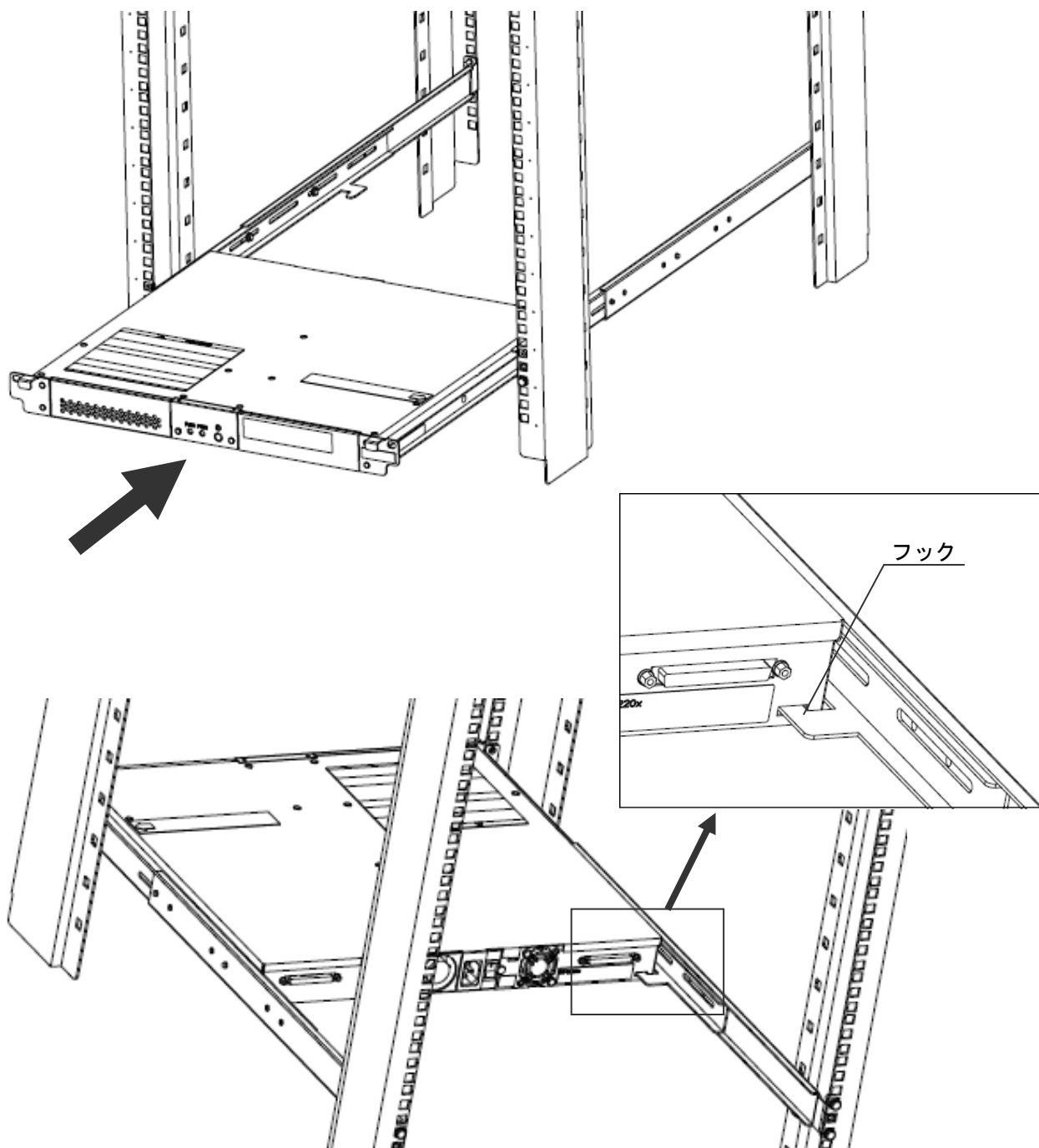


前側

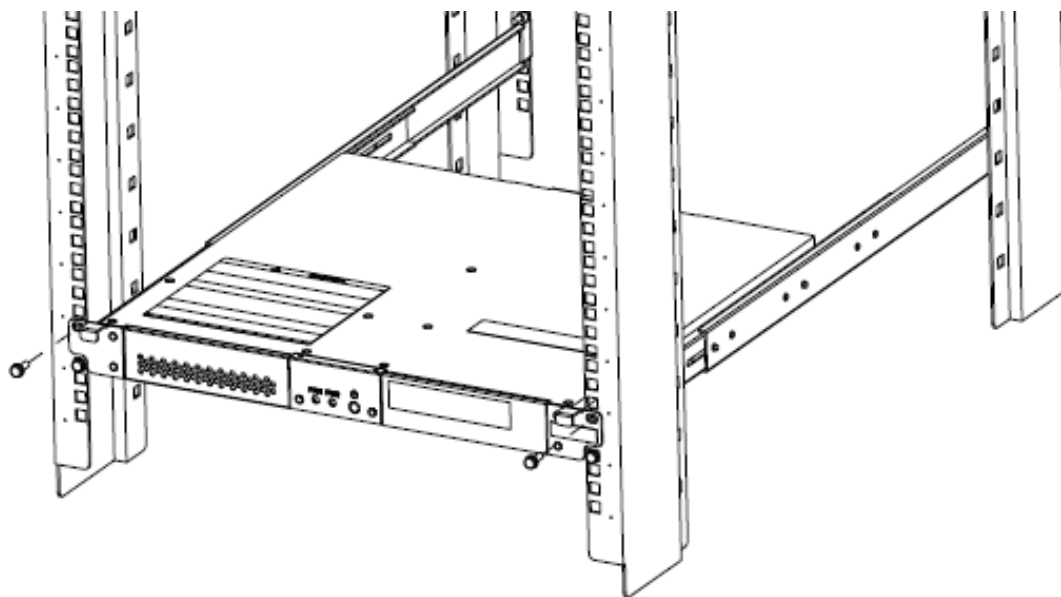
3. 2人以上で装置をしっかりと持ってラックへ取り付けます。

⚠ 注意	
	装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。 詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。
	
<ul style="list-style-type: none">● 一人で持ち上げない● 指を挟まない	

ラックの前面から本製品をラックマウントレールの上に載せて、後ろにゆっくりスライドしてください。ラックマウントレールのフックに当り、後ろに押せなくなるまでスライドさせます。




4. 本製品前面の左右にあるラック固定ネジ穴にネジを固定します。



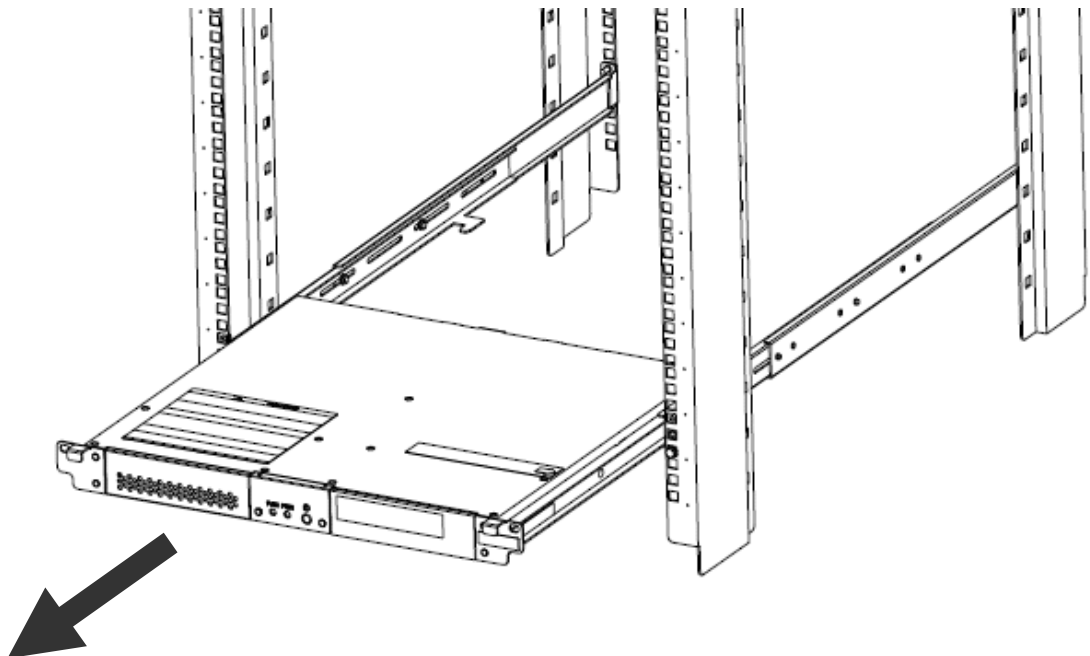
以上で完了です。

取り外し手順

ラックからの取り外し作業は必ず複数名で行ってください。

⚠ 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。 詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一人で搬送・設置をしない● 指を挟まない● 高温注意● ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出した状態にしない● 複数台の装置をラックから引き出した状態にしない

1. Expressサーバとデバイス増設ユニットの電源がオフになっていることを確認してから、デバイス増設ユニットに接続している電源コードやSCSI/SAS/USBケーブルをすべて取り外す。
2. 前面のラック固定ネジ穴のネジ2本を外す。
3. ハンドルを持ってゆっくりと静かにラックから引き出す。



4. 内蔵デバイスの取り付け

デバイス増設ユニットに取り付けられるデバイスの取り付け方法および注意事項について記載します。



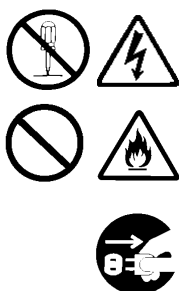
重要

- デバイスの取り付け／取り外しはお客様が行うことができますが、この場合装置および部品の破損または運用した結果の影響についてはその責任を負いかねますのでご了承ください。本装置について詳しく、専門的な知識を持った保守サービス会社の保守員に取り付け／取り外しを行わせるようお勧めします。
- デバイスおよびケーブルはNECが指定する部品を使用してください。指定以外の部品を取り付けた結果起きた装置の誤動作または故障・破損についての修理は有料となります。

安全上の注意

安全にデバイスの取り付け・取り外しをするために次の注意事項を必ず守ってください。

警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。
詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない。
- プラグを抜かずに取り扱わない。

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
火傷やけがを負うおそれや物理的損害を負うおそれがあります。
詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。

- 一人で持ち上げない。
- 中途半端に取り付けない。
- カバーを外したまま取り付けない。
- 指をはさまない。
- 高温注意。

静電気対策について

デバイス増設ユニット内部の部品は静電気に弱い電子部品で構成されています。取り付け・取り外しの際は静電気による製品の故障に十分注意してください。

- リストストラップ（アームバンドや静電気防止手袋など）の着用
リスト接地ストラップを手首に巻き付けてください。手に入らない場合は部品を触る前に筐体の塗装されていない金属表面に触れて身体に蓄積された静電気を放電します。
また、作業中は定期的に金属表面に触れて静電気を放電するようにしてください。
- 作業場所の確認
ー静電気防止処理が施された床、またはコンクリートの上で作業を行います。
ーカーペットなど静電気の発生しやすい場所で作業を行う場合は、静電気防止処理を行った上で作業を行ってください。
- 作業台の使用
静電気防止マットの上に本装置を置き、その上で作業を行ってください。
- 着衣
ーウールや化学繊維でできた服を身につけて作業を行わないでください。
ー静電気防止靴を履いて作業を行ってください。
ー取り付け前に貴金属（指輪や腕輪、時計など）を外してください。
- 部品の取り扱い
ー取り付ける部品は本装置に組み込むまで静電気防止用の袋に入れておいてください。
ー各部品の縁の部分を持ち、端子や実装部品に触れないでください。
ー部品を保管・運搬する場合は、静電気防止用の袋などに入れてください。

取り付け / 取り外しの準備

デバイスの取り付け／取り外しの作業をする前に準備をします。

1. ExpressサーバでOSのシャットダウン処理を行います。
2. Expressサーバの電源をオフにします。
Expressサーバの電源のオフ手順はExpressサーバのユーザズガイドを参照してください。
3. デバイス増設ユニットの電源をオフにします。
4. Expressサーバ、デバイス増設ユニットの電源コードを取り外した後、SCSI／SAS／USBケーブルを取り外します。
5. プラスドライバを用意します。
(SCSIケーブルの場合のみ、マイナスドライバが必要となります)

取り付け / 取り外しの手順

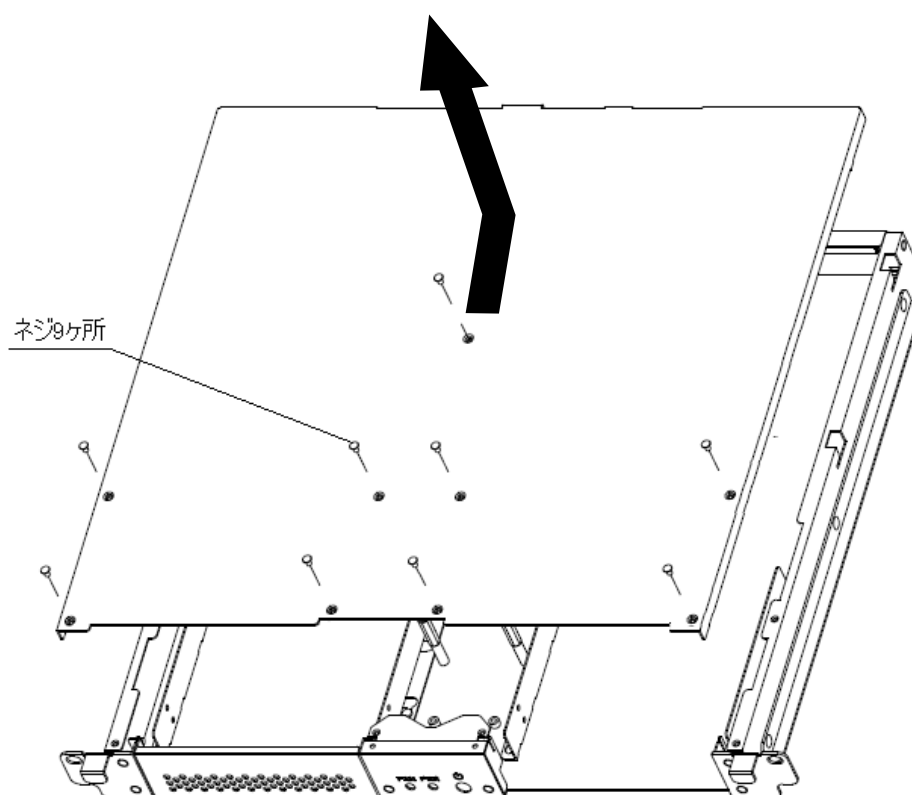
次の手順に従ってデバイスの取り付け／取り外しをします。

トップカバー

5.25インチデバイスの取り付け／取り外しを行うときはトップカバーを取り外します。

取り外し

1. 29ページを参照して取り外しの準備を行ってください。
2. 装置上面のネジ(9個)を取り外した後、トップカバーを後方へずらし取り外します。



- Expressサーバの電源をオフにし、デバイス増設ユニットの電源をオフにしてください。その後、デバイス増設ユニットに接続している全てのケーブルを外してください。
- デバイス増設ユニットの電源コードを取り外さないとトップカバーを取り外すことはできません。

取り付け

トップカバーを取り付けるときは、トップカバーが確実に差し込まれていることを確認してからネジで固定してください。



- 搭載しているデバイスのフロントベゼルが外れないように注意してください。

接続

警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。
詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。

- ぬれた手で電源プラグを持たない。
- アース線をガス管につながらない。

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
火傷やけがを負うおそれや物理的損害を負うおそれがあります。
詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外のコンセントに差し込まない。
- たこ足配線にしない。
- 中途半端に差し込まない。
- 指定以外の電源コードを使わない。
- プラグを抜かずにインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない。
- 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない。
インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
インタフェースケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたりコネクタピンが曲がっていたり汚れたりしていないことを確認してください。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
インタフェースケーブルの接続がゆるんだまま使用しないでください。
インタフェースケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。インタフェースケーブルを取り外すときはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを踏んだり、重い物を乗せる等の機械的ストレスがかかったり、熱などを加えない。



- 電源コードと SCSI/SAS/USB ケーブルは、必ずラックのフレームに固定してください。
- デバイス増設ユニットはExpressサーバの電源をオフにしてから接続してください。オンの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。

ケーブル接続

1. 別途準備したインタフェースケーブルをデバイス増設ユニットに取り付けます。

- SASケーブル : K410-163(00) ※SAS 3Gbpsに対応
- SASケーブル : K410-249(00) ※SAS 3Gbps/6Gbpsに対応
- USBケーブル : K410-197(00)
- SCSIケーブル : K410-201(00)

2. 外付けのインタフェースケーブルを接続します。

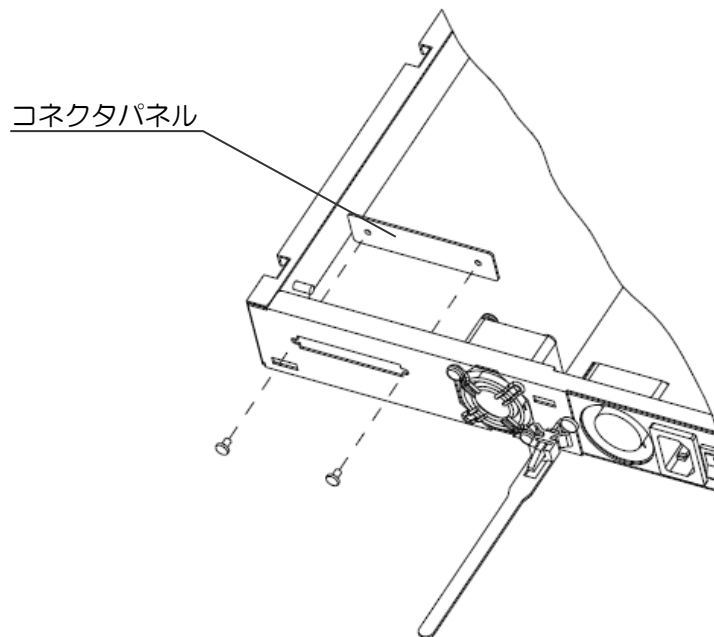
- SASケーブル : K410-168(02) ※[SFF-8470]-[MiniSAS](3Gbps用)、ケーブル長2m
: K410-191(02) ※[MiniSAS]-[MiniSAS](6Gbps用)、ケーブル長2m
- SCSIケーブル : K410-94(01) ※ケーブル長1m
: K410-94(02) ※ケーブル長2m



USBは特定の外付け用のインタフェースケーブルを別手配する必要はありません。
デバイス増設ユニットに取り付けるUSBケーブル(K410-197(00))で
Expressサーバへの接続が可能です。

内蔵インタフェースケーブルの取り付け

1. 29ページを参照して取り外し準備を行ってください。
2. 30ページを参照しトップカバーを取り外します。
3. ネジを外し、コネクタパネルを取り外します。



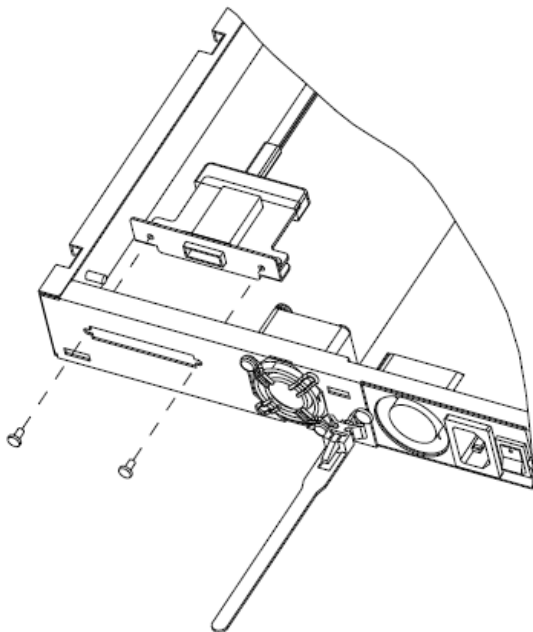
各ケーブルの取り付けは、34ページ、35ページを参照してください



- コネクタ取り付け時は、片方のネジを緩めた状態でケーブル側に付けておくと作業が楽に行えます。
- 内部インタフェースケーブルは添付されているケーブルリピータイ黒やケーブルタイ白を使用し束ねてください。

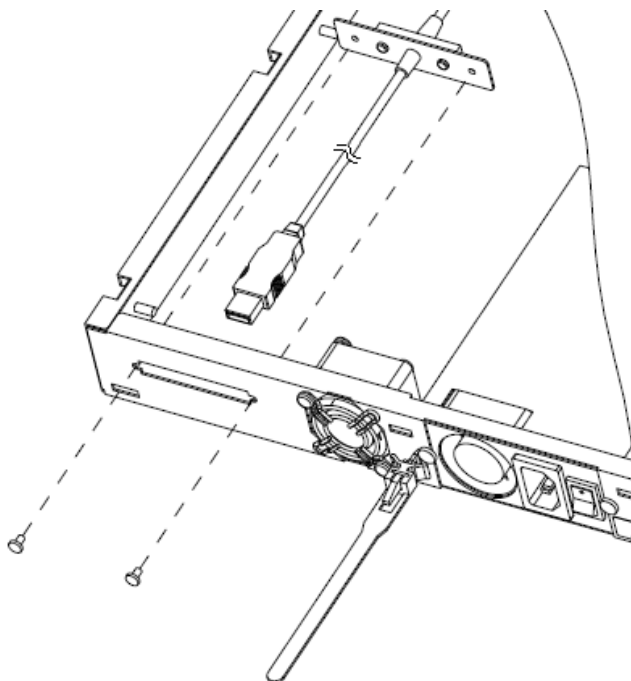
- SASケーブル：K410-163(00)/K410-249(00)

内側からケーブルをコネクタ取り付け用スロットに当て、ネジで取り付けます。
ネジはコネクタパネルのネジを使用します。
余ったケーブルについてはユニット内のスペースに格納してください。



- USBケーブル：K410-197(00)

内側からケーブルをコネクタ取り付け用スロットを通して、ネジで取り付ける。
ネジはコネクタパネルのネジを使用します。

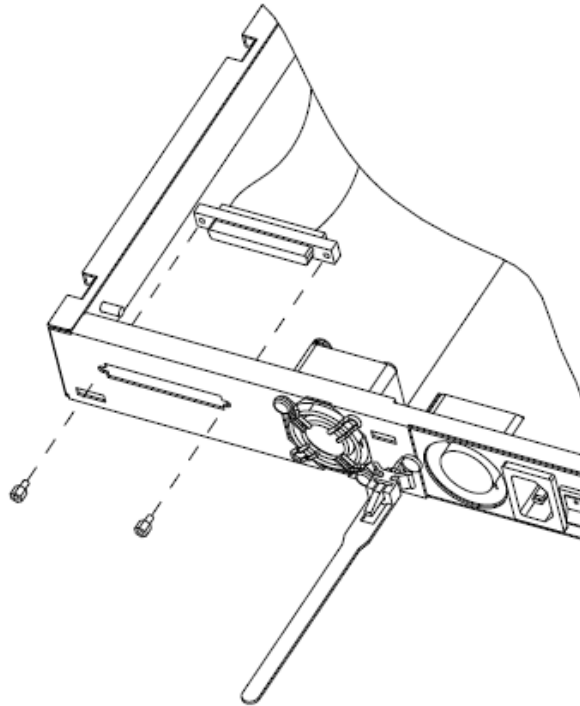


- SCSIケーブル：K410-201(00)

内側からケーブルをコネクタ取り付け用スロットを当て、マイナスドライバを用いてネジを取り付ける。



- 本SCSIケーブルには、SCSIマークのシールが添付されています。本シールを背面から見えるよう、SCSIコネクタの近くに貼ってください。

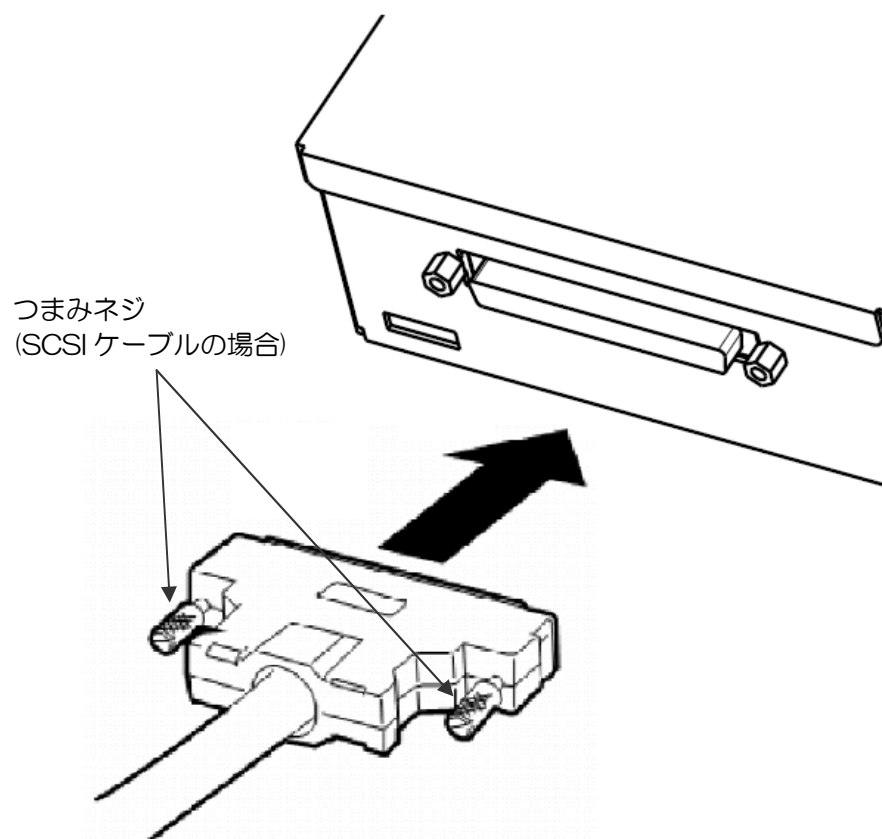


外付けSCSI/SASケーブルの取り付け



- デバイス増設ユニット、Expressサーバの電源をオフにしてから接続してください。オンの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。

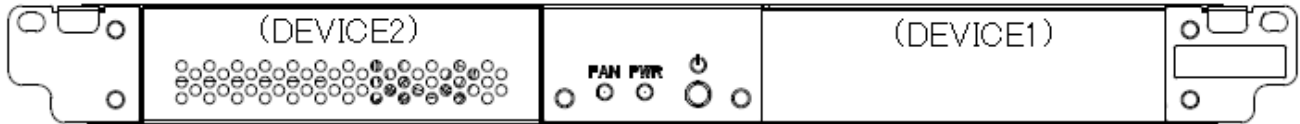
1. 29ページを参照して取り外し準備を行ってください。
2. SCSI/SASケーブルのコネクタを装置背面のSCSI/SASコネクタに合わせます。



3. つまみネジを指でしめて、コネクタを完全に固定します。
SASケーブルの場合はコネクタ部でロックします。

5.25インチデバイス

デバイス増設ユニットの5.25インチデバイスベイには、バックアップデバイスを取り付けるスロットを2つ用意しています。



- NECで指定していない5.25インチデバイスを使用しないでください。サードパーティのデバイスを取り付けると、デバイスだけでなくデバイス増設ユニット本体が故障するおそれがあります。次に示すモデルをお買い求めください。(2012年3月現在)

—N8151-51A	内蔵DAT(SCSI)
—N8151-69	内蔵DAT(USB)
—N8151-78	内蔵DAT(USB)
—N8151-59	内蔵LTO2(SCSI)
—N8151-76	内蔵LTO3(SCSI)
—N8151-101	内蔵LTO2(SAS 3Gbps)
—N8151-102	内蔵LTO3(SAS 3Gbps)
—N8151-90	内蔵LTO4(SAS 3Gbps)
—N8151-103	内蔵LTO5(SAS 6Gbps)
—N8151-86	内蔵RDX(USB)

取り付け

次に示す手順で5.25インチデバイスを取り付けます。



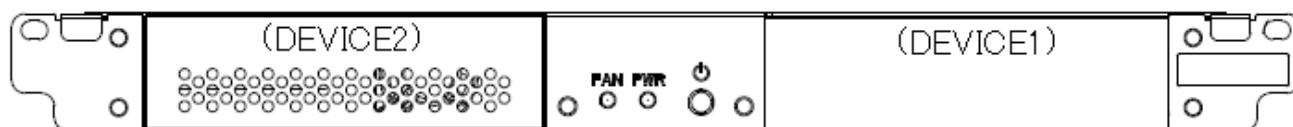
- NECで指定している5.25インチデバイスを取り付けてください。

1. 29ページを参照して取り外し準備を行ってください。
2. トップカバー（→30ページ）を取り外す。

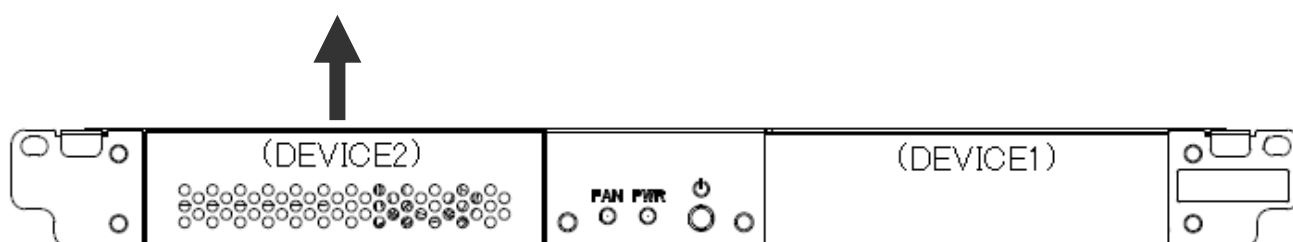


- デバイス増設ユニットの電源コードを取り外さないとトップカバーを取り外すことはできません。

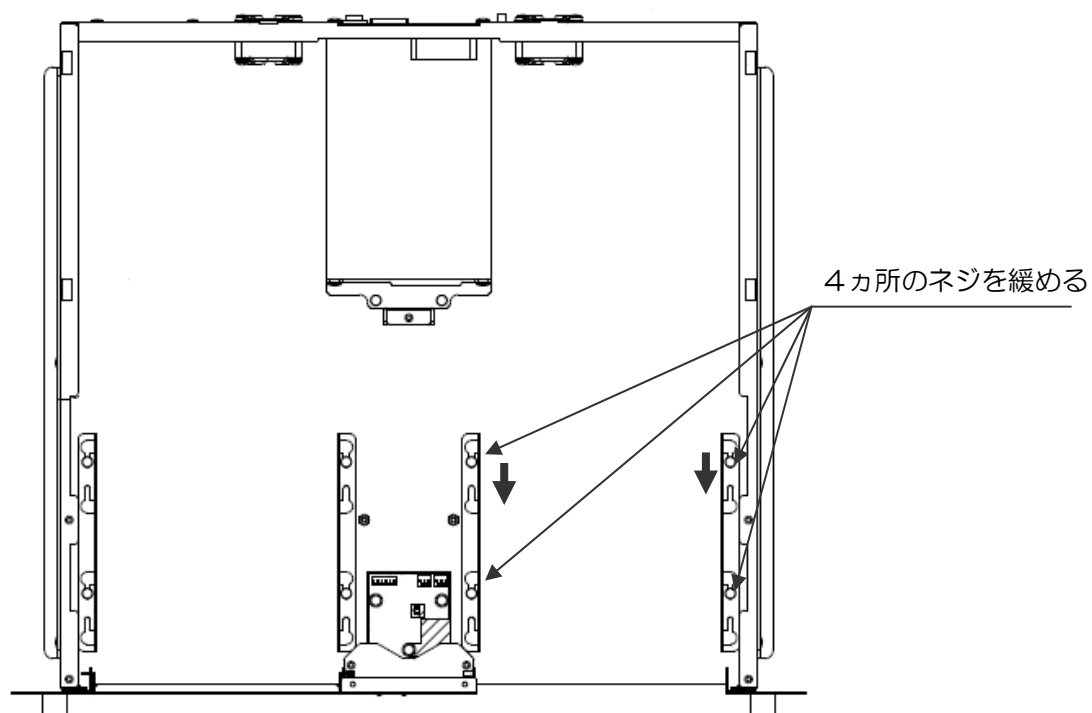
3. 5.25インチデバイスを取り付けるスロットを確認する。スロットは2個あります。スロット番号の小さい順に取り付けてください。



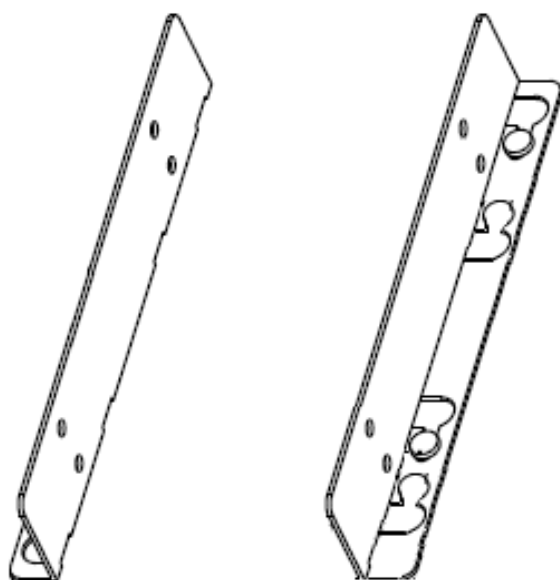
4. DEVICE2に5.25インチデバイスを取り付ける場合はデバイスベイカバーを取り外します。



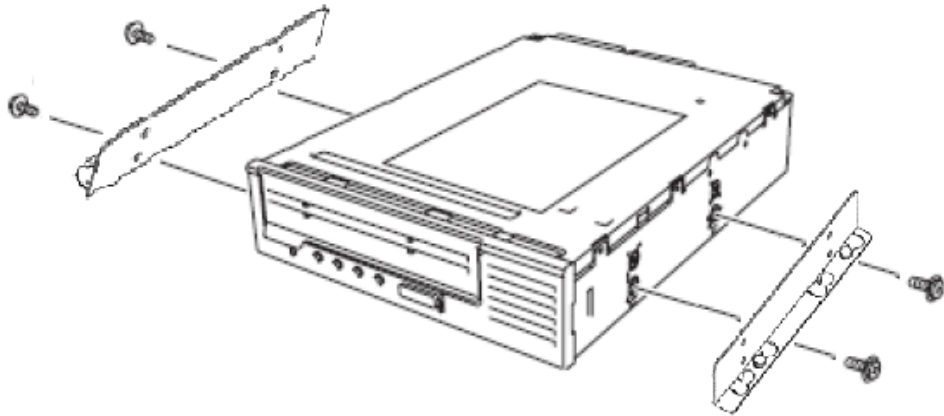
5. ブラケットのネジを緩めてスライドさせて取り外す。



6. 取り付ける場合は、本体内部に取り付けられているブラケット（2個）を使用します。



7. 取り付けるデバイスにブラケットを取り付ける。



必ずデバイスに添付されているネジを使用してください。

8. デバイスを取り付ける。ブラケットの「取り外し」と逆の手順で行ってください。
9. 5.25インチデバイスに装置内部のSCSI/SAS/USBインタフェースケーブルと電源ケーブルを接続してください。
10. 取り外したトップカバーを取り付ける。
11. SCSIの場合のみ、Expressサーバのユーザズガイド「SCSI BIOS」を参照し、必要に応じて「SCSI Select」ユーティリティを起動し、デバイスの転送速度の設定を行います。

取り外し

取り外しは、「取り付け」の逆の手順で行ってください。

5. 基本的な操作

デバイス増設ユニットの基本的な操作の方法について説明します。

電源のオン／オフ

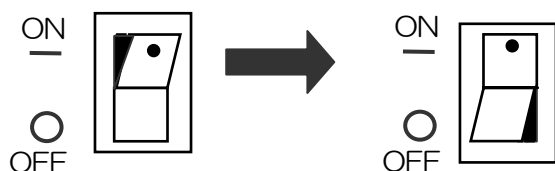
電源ユニットパワースイッチの設定

装置背面にあるパワースイッチで、デバイス増設ユニットの電源オン/オフを行います。

< デバイス増設ユニットの電源オン >

次の手順により、本装置の電源がオンになります。

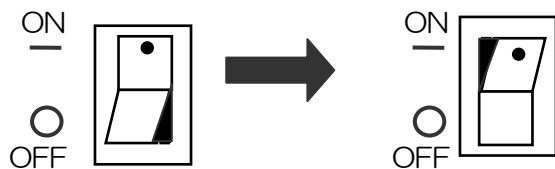
1. パワースイッチをオン（ON）にする。



< デバイス増設ユニットの電源オフ >

次の手順により本装置の電源がオフになります。

1. パワースイッチをオフ(OFF)にする。



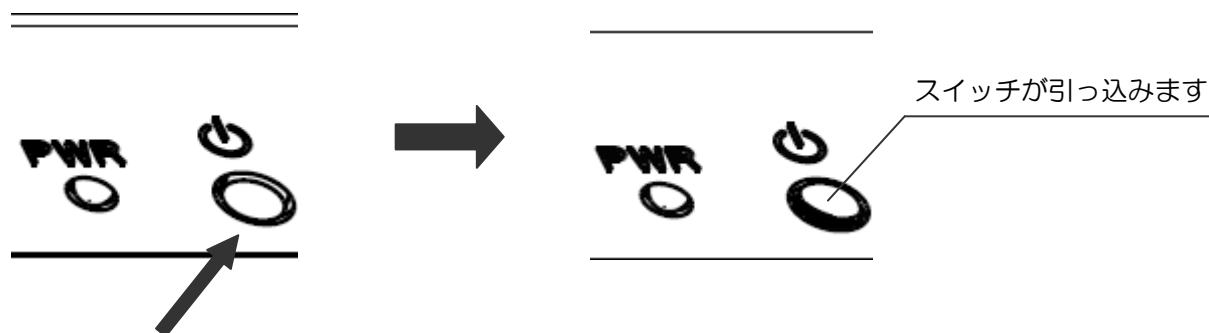
DCパワースイッチの設定

装置前面にあるDCパワースイッチで、デバイスへのDC供給のオン/オフを行います。

<DCスイッチの電源オン>

次の手順により、本装置の電源がオンになります。

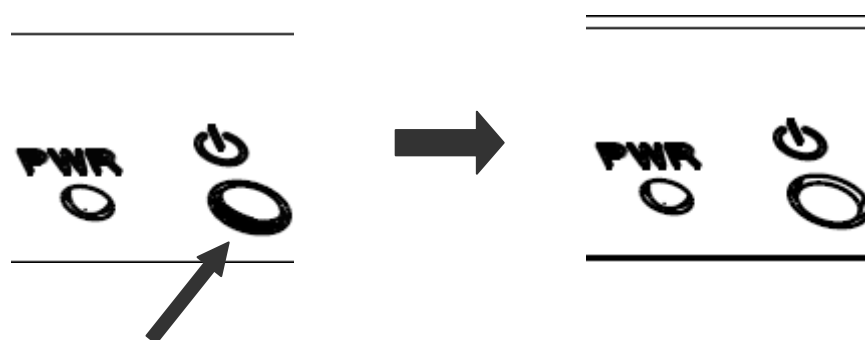
1. DCパワースイッチをオン（ON）にする。



< DCスイッチの電源オフ >

次の手順により本装置の電源がオフになります。

1. DCパワースイッチをオフ（OFF）にする。



- Expressサーバとの電源連動はできません。
本装置背面の電源ユニットパワースイッチと前面のDCパワースイッチで電源をオン／オフしてください。
- DCパワースイッチのオン時にFANのLEDが一瞬点灯しますが、問題はありません。

6. コンフィグレーション

SCSI BIOS ～SCSI Select

「SCSI Select」ユーティリティはExpressサーバ内部のマザーボード上のSCSIコントローラ（またはオプションボード上のSCSIコントローラ）に対して各種設定を行うためのユーティリティです。主に接続されるSCSI機器の転送速度の設定を行う場合に使用します。起動には、起動ディスクなどは必要なく、POST実行中に簡単なキー操作を行うことで実行できます。



重要

- 「SCSI Select」ユーティリティの設定方法は、Express サーバのユーザーズガイドをご覧ください。
- SCSI のコンフィグレーションは SCSI コントローラ単位に個別にユーティリティを起動して設定しなければなりません。Express サーバにオプションの SCSI コントローラボードを増設した場合は、Express サーバ内蔵の SCSI コントローラに加え、増設した枚数分の SCSI コントローラの設定が必要です。また、設定を変更するために使用するユーティリティも異なる場合があります。

本装置の SCSI 転送速度について



重要

- 本装置は Ultra320SCSI インタフェースに対応しております。

SCSI コントローラ（オプションボード）について



重要

- 弊社で指定していない SCSI コントローラを使用しないでください。指定以外の SCSI コントローラを取り付けると、SCSI コントローラだけでなく本装置や本体装置が故障するおそれがあります。次に示すモデルをご使用ください。（2012 年 3 月現在）
なお、接続する本体装置や本装置に接続するデバイスによってご使用になれる SCSI コントローラが違います。
 - ・ N8103-75
 - ・ N8103-95
 - ・ N8103-107

SAS コントローラ（オプションボード）について



重要

- 弊社で指定していない SAS コントローラを使用しないでください。指定以外の SAS コントローラを取り付けると、SAS コントローラだけでなく本装置や本体装置が故障するおそれがあります。次に示すモデルをご使用ください。（2012 年 3 月現在）
 - ・ N8103-104A ※3Gbps に対応
 - ・ N8103-142 ※6Gbps に対応

7. ユーザサポート

デバイス増設ユニットの運用、および保守について説明します。

日常の保守	デバイス増設ユニットを日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。
障害時の対処	故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています
移動と保管	デバイス増設ユニットを移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。
ユーザーサポート	デバイス増設ユニットに関するさまざまなサービスについて説明します。サービスはNEC、およびNECが認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

デバイス増設ユニットを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

LED の確認

デバイス増設ユニットの電源ユニットをオンにした後、およびデバイス増設ユニットの電源ユニットをオフにする前に、デバイス増設ユニット前面にあるLEDや、デバイスベイに搭載している装置のLEDの表示を確認してください。万一、デバイス増設ユニットの異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。



- 本製品は電源スイッチが前面と背面に各1個ずつあります。

本体のクリーニング

外観の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



重要

- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、装置背面のコネクタ、内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. デバイス増設ユニットの電源ユニットがオフになっていることを確認する。
2. デバイス増設ユニットの電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. デバイス増設ユニットの汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。
8. 乾いた布で装置背面にある吸気口や排気口に付着しているほこりをふき取る。

障害時の対処

「故障かな？」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがらがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

トラブルシューティング

デバイス増設ユニットが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従ってチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。



電源がオンにならない

☐ 電源がデバイス増設ユニットに正しく供給されていますか？

→電源コードが電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。

→添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。

→接続したコンセントのブレーカがオンになっていることを確認してください。

→UPSに接続している場合は、UPSの電源がオンになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付のマニュアルを参照してください。

☐ 本装置には前後に2つの電源スイッチがありますが、両方の電源スイッチをオンにしていますか？



電源がオフにならない

☐ 本装置には前後に2つの電源スイッチがありますが、両方の電源スイッチをオフにしていますか？



Expressサーバからデバイス増設ユニットにアクセスできない。 5.25インチデバイスにアクセスできない。

☐ ケーブルは正しく接続されていますか？

→インタフェースケーブルや電源コードが確実に接続されていることを確認してください。

☐ Expressサーバで使用できる5.25インチデバイスですか？







→NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。








☐ デバイス増設ユニットに接続可能な装置またはSCSI/SASコントローラですか？


→接続対象のExpressサーバであるか、またはNECが指定しているSCSI/SASコントローラ以外での動作は保証しません。

移動と保管

移動・保管するときは保守サービス会社に連絡して、ラックからの取り外しを依頼してください

 警告	
    	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。 詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 自分で分解・修理・改造はしない。● プラグを抜かずに取り扱わない。

 注意	
     	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。 火傷やけがを負うおそれや物理的損害を負うおそれがあります。 詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一人で持ち上げない。● 中途半端に取り付けない。● カバーを外したまま取り付けない。● 指をはさまない。● 高温注意。

 重要	
	<ul style="list-style-type: none">● フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。● 装置に衝撃を与えないように注意して移動してください。

1. 27ページを参照して本装置をラックから取り出す。
必ず2人以上で作業してください。
2. 装置に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

ユーザサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



重要

- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きたExpressサーバの故障についてはその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体の上面に、製品の形式、SERIALNo.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、装置が保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

- ①電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ②「障害時の対処（47ページ）」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
- ③Expressサーバを操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本製品のLED表示をご確認ください。故障時のLED表示は修理の際の有用な情報となる場合があります。保守サービス会社の連絡先については、Expressサーバのユーザーズガイドの付録「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。
なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください



重要

- この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

☐保証書

☐障害情報*

☐本体・周辺機器の情報

*障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは NEC 保守サービス会社、および NEC が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合にあわせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて 2 種類ご用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様のご要求により優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で実施させて頂くもので、お客様との間に維持保守契約を結ばさせて頂きます。
未契約保守サービス	お客様のご要求により、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。



サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

情報サービスについて

Express5800 シリーズ、及びその関連製品に関するご質問、ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※電話番号のかけ間違いが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください、

ファーストコンタクトセンター **TEL. 03-3455-5800（代表）**
受付時間 / 9:00 ～ 12:00、 13:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス」の申し込みに関するご質問、ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※電話番号のかけ間違いが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください、

エクスプレス受付センター **TEL. 0120-22-3042**
受付時間 / 9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

インターネットでも情報を提供しています。

<http://www.nec.co.jp/products/express/>

「Express5800 ポータルサイト」：製品情報、Q&A など最新 Express 情報満載！

<http://club.express.nec.co.jp/>

「Club Express」：「Club Express 会員」への登録をご案内しています。Express5800 シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介します。

<http://www.fielding.co.jp/>

NEC フィールディング(株)ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

~Memo~

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

NEC

N8141-48
デバイス増設ユニット

ユーザーズガイド

2009年 10月 初版
2012年 3月 第2版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目7 番1 号
TEL (03) 3454- 1111 (大代表)

©NEC Corporation 2009 - 2012
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。